

第12章 特別活動

1 特別活動における「評価の観点」とその趣旨について

特別活動においては、改善等通知において示されたように、特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、設置者ではなく、「各学校で評価の観点を定める」としている。このため本章では、特別活動の学習評価が効果的に行われるようにするために、各学校において特別活動の観点とその趣旨、並びに評価規準を作成する際の参考となるよう、「評価の観点」とその趣旨並びに「内容のまとめりとごとの評価規準」の作成の手順を説明するものである。

2 小学校特別活動の内容のまとめり

小学校特別活動における内容のまとめりは、以下のようになっている。

学級活動・・・（１）学級や学校における生活づくりへの参画 （２）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 （３）一人一人のキャリア形成と自己実現 児童会活動 クラブ活動 学校行事・・・（１）儀式的行事，（２）文化的行事，（３）健康安全・体育的行事， （４）遠足・集団宿泊的行事，（５）勤労生産・奉仕的行事

3 小学校特別活動の「評価の観点」とその趣旨、並びに「内容のまとめりとごとの評価規準」作成の基本的な手順

学習指導要領の特別活動の目標及び各学校の実態を踏まえて、特別活動の「評価の観点」を設定する。「内容のまとめりとごとの評価規準」は、学習指導要領の「特別活動の目標」と改善等通知を踏まえ、特別活動の特質に応じた形で作成する。「評価の観点」とその趣旨、並びに「内容のまとめりとごとの評価規準」作成の具体的な手順については、次ページ以降に記載している。

① 学習指導要領の「特別活動の目標」と改善等通知を確認する。

② 学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、改善等通知の例示を参考に、特別活動の「評価の観点」とその趣旨を設定する。

③ 学習指導要領の「各活動・学校行事の目標」及び学習指導要領解説で例示した「各活動・学校行事における育成を目指す資質・能力」を参考に、各学校において育成を目指す資質・能力を重点化して設定する。

④ 観点ごとのポイントを踏まえ、「内容のまとめりとごとの評価規準」を作成する。

4 小学校特別活動における「評価の観点」とその趣旨、並びに「内容のまとまりごと の評価規準」の作成の具体的な手順

① 学習指導要領の「特別活動の目標」と改善等通知を確認する。

【特別活動の目標】

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

○多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要になることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

○集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

○自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

【各学校における特別活動の観点の設定の仕方について】

初等中等教育局長通知（H 3 1. 3. 2 9）（改善等通知）では次のように示されている。

（前略）評価の観点については、小学校学習指導要領等に示す特別活動の目標を踏まえ、各学校において別紙 4 を参考に定める。その際、特別活動の特質や学校として重点化した内容を踏まえ、例えば「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」などのように、より具体的に定めることも考えられる。（後略）

② 学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、改善等通知の例示を参考に、特別活動の「評価の観点」とその趣旨を設定する。

各学校においては、小学校学習指導要領に示された特別活動の目標及び内容を踏まえ、自校の実態に即し、改善等通知の例示を参考に観点を作成する。その際、例えば次に示すように、特別活動の特質や学校として重点化した内容を踏まえて、具体的な観点を設定することが考えられる。

【特別活動における「評価の観点及びその趣旨」をもとにした例】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
多様な他者と協働する様々な 集団活動の意義や、活動を行う 上で必要となることについて 理解している。 自己の生活の充実・向上や自分 らしい生き方の実現に必要と	所属する様々な集団や自己の 生活の充実・向上のため、問題 を発見し、解決方法について考 え、話し合い、合意形成を図つ たり、意思決定をしたりして実 践している。	生活や社会、人間関係をよりよ く築くために、自主的に自己の 役割や責任を果たし、多様な他 者と協働して実践しようとして いる。 主体的に自己の生き方につい

なることについて理解している。 よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている。		ての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
--	--	------------------------

＊特別活動における資質・能力の視点（「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」）をもとに重点化を図った例

集団や社会に参画するための知識・技能	協働してよりよい生活や人間関係を築くための思考・判断・表現	主体的に目標を立てて共によりよく生きようとする態度
多様な他者と協働し、集団の中で役割を果たすことの意義や、学級・学校生活を向上する上で必要となることを理解している。 よりよい生活づくりのための話し合いの手順や合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	多様な他者と協働して、よりよい生活や人間関係を築くために、集団や個の生活上の課題について話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。	学級や学校の一員としてのこれまでの自分を振り返り、なりたい自分に向けて目標をもって努力し、他者と協働してよりよく生きていこうとしている。

＊社会参画に重点化を図った例

多様な他者と協働するために必要な知識・技能	集団や社会をよりよくするための思考・判断・表現	主体的に集団活動や生活をよりよくしようとする態度
学級・学校生活の充実のために主体的に参画することの意義や、そのための話し合いの手順を理解している。 学級会等における合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	学級・学校生活の充実・向上のために課題を考え、話し合い、集団としての解決方法を合意形成を図って決定したり、自分の実践目標を意思決定したりしている。	学級・学校の生活の改善・充実を図るために、多様な他者のよさを生かし、協働して実践しようとしている。 なりたい自分を目指し、これまでの自分を振り返り、これからの集団活動や生活に生かそうとしている。

③ 学習指導要領の「各活動・学校行事の目標」及び学数指導要領解説で例示した「各活動・学校行事における育成を目指す資質・能力」を参考に、各学校において育成を目指す資質・能力を重点化して設定する。

学習指導要領解説では、各活動・学校行事の内容ごとに育成を目指す資質・能力が例示されている。そこで、学習指導要領で示された「各活動・学校行事の目標」及び学習指導要領解説で例示された「資質・能力」を確認し、各学校の実態に合わせて育成を目指す資質・能力を重点化して設定する。

④ 観点ごとのポイントを踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

特別活動の目標や各活動・学校行事の目標、各学校で設定した各活動・学校行事において育成を目指す資質・能力を踏まえて、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。その際、学級活動においては、学習指導要領解説に示した、発達の段階に即した指導のめやすや各学年段階における配慮事項を踏まえて評価規準を作成することが考えられる。

* 各学校で作成した評価の観点や目指す資質・能力をもとに、学習指導要領で示された各活動・学校行事の「内容」に即して、評価規準を作成する。

【評価規準の作成のポイント】

○「知識・技能」の評価規準の作成について

- ・「知識・技能」は、話合いや実践活動における意義の理解や基本的な知識・技能の習得として捉え、評価規準を作成する。
- ・学習指導要領解説における資質・能力の例に示されている内容の意義を確認する。
- ・文末を「～を理解している、～を身に付けている」とする。

○「思考・判断・表現」の評価規準の作成について

- ・「思考・判断・表現」は、話合いや実践活動における、習得した基本的な知識・技能を活用して課題を解決することと捉え、評価規準を作成する。
- ・「表現」は、これまでと同様に言語による表現にとどまらず、行動も含んで捉えることとする。
- ・文末を「～している」とする。

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成について

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、自己のよさや可能性を発揮しながら、主体的に取り組もうとする態度として捉え、評価規準を作成する。
- ・身に付けた「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」を生かして、よりよい生活を築こうとしたり、よりよく生きていこうとしたりする態度の観点を具体的に記述する。
- ・各活動・学校行事において、目標をもって粘り強く話合いや実践活動に取り組み、自らの活動の調整を行いながら改善しようとする態度を重視することから、「見通しをもったり振り返ったりして」という表現を用いる。
- ・文末を「～しようとしている」とする。

なお、学級活動の内容のまとまりは、学級活動（１），（２），（３）である。

次に学級活動（１）を例に評価規準作成の手順を示す。

＜学級活動「（１）学級や学校における生活づくりへの参画」を例にした手順＞

（ア）学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえて改善等通知の例示を参考に作成した特別活動の評価の観点を確認する。

（イ）「学級活動の目標」及び学習指導要領解説で例示した「学級活動（１）において育成を目指す資質・能力」を確認し、自校として育成を目指す資質・能力を設定する。

【学級活動の目標】

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

【学級活動（１）において育成することが考えられる資質・能力の例】

学級活動（１）においては、例えば次のとおり資質・能力を育成することが考えられる。

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

（小学校学習指導要領解説特別活動編 P48）

（ウ）観点ごとの評価規準を作成する。

学級活動については、発達の段階に即し、低・中・高学年ごとに評価規準を作成することが考えられる。その際、学習指導要領第６章第２〔学級活動〕３（１）に示された「各学年段階における配慮事項」（小学校学習指導要領解説特別活動編 P76）や、「学級活動（１）の発達の段階に即した指導のめやす」（同 P78）を参考にすることができる。

【学級活動「（１）学級や学校における生活づくりへの参画」の評価規準（例）】

〔第１学年及び第２学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合っ て実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に 取り組もうとしている。

方を理解し、活動の方法を身に付けている。		
----------------------	--	--

〔第3学年及び第4学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

〔第5学年及び第6学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

【学級活動「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の評価規準（例）】

〔第1学年及び第2学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

〔第3学年及び第4学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

〔第5学年及び第6学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

【学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の評価規準（例）】

〔第1学年及び第2学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについての課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生活するために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて進んで行動しようとしている。

〔第3学年及び第4学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよ	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをも

将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	く生活するための課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	ったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて意欲的に行動しようとしている。
---	--	---

〔第5学年及び第6学年の例〕

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもちたり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

【児童会活動の評価規準（例）】

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
楽しく豊かな学校生活をつくる児童会活動の意義について理解するとともに、活動の計画や運営の方法、異年齢集団による交流の仕方などを身に付けている。	児童会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたり、人間関係をよりよく形成したりして主体的に実践している。	楽しく豊かな学校生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、児童会の活動に積極的に取り組もうとしている。

【クラブ活動の評価規準（例）】

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動を計画する方法や創意工夫を生かした活動の進め方などを身に付けている。	クラブの一員として、よりよいクラブ活動にするために、諸問題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりしながら実践している。	共通の興味・関心を追求するために、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働し、自分のよさを生かしてクラブの活動に積極的に取り組もうとしている。

【学校行事（１）儀式的行事の評価規準（例）】

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場におけるマナー等の規律、気品のある行動の仕方などを身に付けている。	学校や学年の一員として、よりよい学校生活にするために、新しい生活への希望をもって、集団の場において規則正しく行動している。	厳粛で清新な気分を味わい、儀式的行事を節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、これからの生活への希望や意欲を高め、儀式的行事に積極的に取り組もうとしている。

【学校行事（２）文化的行事の評価規準（例）】

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
文化的行事の意義や日ごろの学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方について理解し、互いに発表したり、鑑賞し合ったりする活動に必要な知識や技能、マナーなどを身に付けている。	学校や学年の一員として、楽しく豊かな学校生活にするために、多様な文化や芸術について自他のよさについて考えたり、学習の成果を発表し合ったりして、互いのよさを認め合いながら実践している。	多様な文化や芸術に親しむとともに、自他のよさを見付け合い、自己を伸長し、見通しをもったり振り返ったりしながら、文化的行事に積極的に取り組もうとしている。

【学校行事（３）健康安全・体育的行事の評価規準（例）】

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等の非常時から身を守ることなどについてその意義を理解し、必要な行動の仕方など身に付けている。 体育的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けている。	学校や学年の一員として、健全な生活にするために、自己の健康や安全についての課題や解決策について考えたり、運動することのよさについて考えたりし、適切に判断し実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進に努め安全に関心をもつとともに、運動に親しみ体力を向上するために、見通しをもったり振り返ったりしながら、健康安全・体育的行事に積極的に取り組もうとしている。

【学校行事（４）遠足・集団宿泊的行事の評価規準（例）】

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
遠足・集団宿泊的行事の意義や校外における集団生活の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けている。	学校や学年の一員として、よりよい集団活動にするために、平素とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方について考えたり、共に協力し合ったりしながら実践している。	日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化などに関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、遠足・集団宿泊的行事に積極的に取り組もうとしている。

【学校行事（５）勤労生産・奉仕的行事の評価規準（例）】

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
勤労や生産の喜び、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う意義について理解し、活動の仕方について必要な知識や技能を身に付けている。	学校や学年の一員として、よりよい学校・社会にするために、自他のよさを生かし、よりよい勤労や生産の在り方、働くことの意義や社会奉仕について考え、実践している。	学校や地域社会のために役立つことや働くこと、生産すること、他者に奉仕することに関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、勤労生産・奉仕的行事に積極的に取り組もうとしている。